

令和6年3月15日（金）に開催した地域医療構想調整会議の開催後の追加意見

NO	追加意見
1	既存の公募分 37 床に加えて新規公募 123 床、合計 160 床の公募は数値上やむを得ないと思う。しかし現状の病床利用率が 70%前後であると本当に必要かどうか疑問である。
2	公募病床について、高度急性期は諸般の事情（物価高騰、土地価格上昇、医師確保など）から困難である。
3	その他の内で感染症医療について、第3次的（埼玉県内）に新興感染症病棟を作れることを医療圏を超えて作れることを望む。南部が無理ならば、他の医療圏で考えた方がよい（例えば利根医療圏とか）。
4	在宅で小児から高齢者にかかわっている現状から、医療的ケア児・者、神経難病、高齢者のレスパイト入院が少なく介護者は疲弊している状況があります。そのため、地域包括ケア病床（特に重症度が高い患者対応が可能な）の増床があると在宅医療の更なる促進が可能と考えております。